

# 受診される方への注意事項

			検査前日までの準備	検査当日
食事	午前受診の方		●夕食は午後9時までに済ませてください。 ●夕食後は、水・お茶以外の飲み物は飲まないでください。 ●飲酒は控えてください。	●コップ1杯(180ml)程度の水・お茶以外は絶飲食です。 ●脱水予防の為、予約時間の2時間前までにコップ1杯(180ml)程度の水をお飲みください。 ●ガムや飴、タバコは検査終了までご遠慮ください。
	午後受診の方	胃腹部超音波検査がない検査方	●普段通りにお過ごしください。	●朝7時までに食事と水分補給を済ませ、それ以降は食べ物を召し上がらないでください。 予約時間の2時間前までであれば、コップ1杯(180ml)程度の水やお茶を飲んでも構いません。 ●ガムや飴、タバコは検査終了までご遠慮ください。
		胃腹部超音波検査がある検査方	前日の食事制限はございませんが、飲酒はお控えください。 検査当日の朝食は必ず、7時前までに軽く済ませて下さい。※胃に残りやすい食べ物は摂取しないでください。 ＜朝食例＞ ①トースト1～2枚、コーヒーまたは紅茶(牛乳・バター等の乳製品は除く) ②うどん(具は除く) ※牛乳・ヨーグルトは当日の朝食では摂取しないでください。 予約時間の2時間前までであれば、水やお茶(コップ1杯180ml)を飲んでも構いません。 ※ガムや飴、タバコは検査終了までご遠慮ください。	
お薬			●普段通り内服してください。	＜午前胃の検査および腹部超音波検査がある方＞ ●血糖を下げる薬を内服・注射している方は、朝の薬を服薬をしないでください。 ●高血圧・心臓病・脳血管疾患・気管支喘息・てんかん等で治療中の方は、朝6時までに服薬してください。それ以外の薬は検査終了後に服薬可能です。 ※時間薬がある場合は時間通りに内服し、問診時に申告してください。  ＜午後胃の検査および腹部超音波検査がある方＞ ●朝の食後薬は7時までに内服して下さい。昼の薬は検査終了後服用ください。 ●胃の検査、腹部超音波検査のない方は通常通りに内服してください。
採便 (検査のある方)			●検査日を含めて3日以内の便を採取してください。 ●便検査セットに入っている説明用紙をお読みになり、採取してください。 ●別の日で2本採取してください。 ●検体と提出用袋(緑色)に「名前・採便日」を記入してください。 ●女性の方は、生理日の採便は避けてください。	●2日分を採取できない場合は1日分でもお持ちください。 ●採便できなかった場合は、受付窓口でその旨をお申し出ください。
採尿 (検査のある方)				●同封の紙コップで、起床直後の中間尿を採取してください。※尿検査セットに入っている説明用紙をお読みになり、採取してください。
書類			●胃バリウム検査、または胃カメラ検査を受けられる方は、別紙の説明書を必ずお読みください。 ●問診票等の必要書類はできるだけ検査前日までに記入してください。	●各書類に記入漏れがないかを確認してください。 ●未記入の場合、受付の順番が後になる場合がありますのでご注意ください。
コンタクトレンズ 眼鏡			●眼底・眼圧検査のある方は、眼鏡・コンタクトレンズケース・洗浄保存液をお持ちください。 ※コンタクトレンズケース・洗浄保存液は用意しておりません。 ●使い捨てコンタクトレンズをご使用の方は、代わりのコンタクトレンズ又は眼鏡をお持ちください。	
女性の方へ			●妊娠、又はその可能性のある方は、あらかじめお申し出ください。 ●生理中は実施できない検査と結果に影響が出る検査がございます。健診日程の変更をおすすめいたします。 ●不妊治療中の方は健診時期について必ず主治医にご相談ください。	
その他			●発熱、感冒様症状がある方、インフルエンザ等の感染症の方の受診はお断りしております。 ●心臓ペースメーカー等が体内にある場合はお申し出ください。 ●インスリンポンプ、持続グルコース測定器などを使用中の方は放射線検査(胸部レントゲン、胃部バリウム検査、マンモグラフィ検査)の実施の可否を事前に主治医の先生にご確認ください。 ●健診日をやむを得ず変更される場合は、必ず事前にご連絡をお願いいたします。 ●健診当日、体調や病状・症状などで医師の診断により検査を中止する場合がございます。 ●食事制限の範囲を超えて飲食した場合は、一部の検査が出来ない場合や正しい検査結果をご報告できない場合がありますのでご了承ください。 ●喀痰検査において唾液しか採取されなかった場合、検査結果は検体不適と報告させていただきます。再度採取をご希望の方は別途料金が発生しますので、ご了承ください。	